

ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 特任講師 田 中 結 香 (たなか ゆか) TANAKA Yuka
所属	保 育 科
学位	修士（社会福祉学）（日本福祉大学）
資格・免許	社会福祉士（第 40254 号） 精神保健福祉士（第 30548 号） 保育士（山梨県－014084） 介護支援専門員（登録番号 19080034）
学歴・職歴	<学歴> 2003 年 3 月 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 卒業 (学士（社会福祉学）) 2006 年 12 月 専門学校日本福祉学院精神保健福祉士短期通信科 (現日本医療大学) 卒業 2013 年 3 月 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程（通信教育） 修了（修士（社会福祉学）) <職歴> 2003 年 4 月 つつじが崎学園（社会福祉法人宮前福祉会） 児童指導員 (2003 年 7 月まで) 2003 年 8 月 城東病院（医療法人慶友会） 社会福祉士 (2014 年 5 月まで) 2014 年 4 月 健康科学大学 非常勤講師 (2022 年 3 月まで) 2014 年 6 月 社会福祉法人恵優会 社会福祉士 (2020 年 10 月まで) 2017 年 4 月 日本福祉大学社会福祉実習教育センター 社会福祉士実習指導講師（現在に至る） 2017 年 4 月 NHK 学園社会福祉士養成課程 非常勤教員 (2022 年 3 月まで) 2018 年 12 月 大原医療秘書福祉保育専門学校社会福祉士養成通信課程 非常勤教員（現在に至る） 2019 年 4 月 日本福祉大学福祉経営学部（通信教育） 非常勤講師 (2022 年 3 月まで) 2020 年 11 月 甲府市役所生活福祉課 自立相談支援員 (2022 年 3 月まで) 2021 年 4 月 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校こども保育学科 非常勤教員（現在に至る） 2021 年 4 月 穴吹国際みらい専門学校社会福祉学科通信課程 非常勤教員 (2022 年 3 月まで) 2022 年 4 月 山梨学院短期大学保育科特任講師（現在に至る） 2022 年 4 月 山梨学院大学健康栄養学部兼任講師（現在に至る）

担当科目		社会福祉 社会的養護Ⅱ 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論 環境と健康 社会生活と健康 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 基礎演習Ⅰ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 社会福祉概論（山梨学院大学健康栄養学部）
専門分野		社会福祉学
現在の研究テーマ		多職種連携実践/多職種連携教育（IPW/IPE） ソーシャルワーク（地域・保育・医療・高齢者・司法）
競争的資金等の研究課題		－
所属学会		日本公衆衛生学会 日本保健医療福祉連携教育学会 日本公衆衛生看護学会 日本保健福祉学会 日本社会福祉士会 山梨県社会福祉士会
メッセージ		専門職として「人を援助する」とはどのようなことでしょうか。社会福祉学では、専門職としての対人援助業務に求められる高度な知識や技術、価値について、他の専門職との円滑な連携、相談援助のプロセス等も学びます。みなさんが素敵な対人援助の専門職となれるよう、一緒に取り組んでいきたいと思います。
教育		
2022 年 4 月～2023 年 3 月		
教育方針		実践と理論の循環を意識し、多職種連携ができる保育者の養成
授業	授業の工夫	<社会福祉> 保育者がなぜ社会福祉を学ぶ必要があるのかについて事例等を用いて毎回丁寧に説明した。社会生活における話題（ニュース）をリアルタイムに取り上げて、社会を身近に感じ、問題提起する考え方ができるよう、アクティブラーニングを積極的に取り入れた。また、保育の知識や技術だけではなく、多職種と円滑に連携しながら実践ができるよう、多職種連携教育にも取り組んだ。 <環境と健康> 人を取り巻く環境及び人の健康に対して、生活者の視点から介入することを目的に、自身の日常生活におけるトピックスを取り上げ、その内容と関連させながら環境と健康問題に対する理解を深めた。特に、保健・医療・福祉の社会的課題を取り上げ、社会全体と自分自身のより良い生活の構築に向けた方法や理論を検討する材料を提供し、自身の日常生活へ還元できるよう具体的な事例を出し、アクティブラーニングを取り入れて進めた。 <社会生活と健康> 栄養士がなぜ社会福祉を学ぶ必要がるのかについて、社会的課題が身近にあることがイメージできるよう、社会福祉の各分野（高齢・障がい・児童・貧困・医療）の栄養に関する実際の事例を収集して活用した。また、社会福祉の視点を持った栄養士の活躍が理解できるよう、実際に現場で実践をしている栄養士のインタビュー映像を教材として作成し、理解を促した。

教育（つづき）		
2022 年 4 月～2023 年 3 月（つづき）		
授業（つづき）	授業改善のための取組	最新の社会的課題をリアルタイムに取り上げられるよう、常にテーマに関連する学会や研修会等に積極的に参加して情報収集に取り組んだ。現場の実践に即した事例を提供できるよう、テーマに沿った対象者に取材をし、最前線の現場の実践内容を学習テーマと関連させながら教材の作成に取り組んだ。学生には授業ごとにリアクションペーパーを記入してもらい、データを統計分析して期待に沿う授業内容とできるよう修正した。
ゼミ	ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）	＜卒業演習＞ 学生一人ひとりとのラポール形成を意識し、自身の興味あるテーマがより深められるよう、テーマに沿った内容を協働して学修し、助言ができるよう努めた。また、学生をエンパワメントすることで継続して取り組めるよう支援した。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	・子どもの貧困に対して私たちができること ・難病児の抱える課題と乗り越えるための支援 ・障がい児者への差別や偏見をなくすには ・保育で伸ばす非認知能力 ・小学生の肥満増加の原因と予防対策について ・自由保育における子どもの育ちと保育者のあり方 ～自由保育を実践する場での保育者と子どもの関わりをもとに～
課外活動	—	
2022 年 3 月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2022 年 4 月～2023 年 3 月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） 大学コンソーシアムやまなし 未来の学び （小学生のための生涯学習講座） （共著）	2023 年 3 月	学研出版 ＜担当部分＞ 地域の暮らしを住みやすくデザイン しよう～社会福祉の考え方から～
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育者養成校学生の講義前後における「社会福祉」に対する印象の変化 （単著）	2023 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 43 卷
（その他：学会発表） 保育者等のスーパービジョンに関する文献 レビュー （共同：筆頭）	2022 年 10 月	第 81 回日本公衆衛生学会総会（山梨）
2022 年 3 月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） <u>査読付き</u> 弁護士との連携に対する地域包括支援センター社会福祉士の困難感と期待感 （共著：筆頭）	2021 年 3 月	健康科学大学紀要 17 号
（学術論文） <u>査読付き</u> 地域包括支援センター社会福祉士と弁護士の連携促進のための研修プログラムの作成と効果 （共著：筆頭）	2021 年 3 月	健康科学大学紀要 17 号
（学術論文） わが国における若年層を対象とした「自殺」に関する研究の概観 （共著）	2021 年 3 月	健康科学大学紀要 17 号
（学術論文） <u>査読付き</u> 地域包括支援センター職員と司法専門職の円滑な連携推進に向けて一連携に必要な要素の実態把握から－ （単著）	2019 年 3 月	社会福祉士 26 号 （日本社会福祉士会）

研究（つづき）		
2022 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） <u>査読付き</u> 医療ソーシャルワーカー（MSW）への精神的 支援－メンタリングとスーパービジョンに 焦点を当てて－ （共著：筆頭）	2019 年 3 月	社会福祉開発研究 14 号 （日本福祉大学大学院）
（学術論文） <u>査読付き</u> 地域包括支援センター業務における司法ソ ーシャルワーク機能－司法専門職との連携 機能に関する職種間の認識差に着目して－ （共著：筆頭）	2018 年 10 月	保健医療福祉連携 11 巻 2 号 （日本保健医療福祉連携教育学会）
（学術論文） <u>査読付き</u> 司法ソーシャルワーク推進に向けた地域包 括支援センター職員と弁護士・司法書士の 連携に対する認識 （共著：筆頭）	2018 年 3 月	健康科学大学紀要 14 号
（学術論文） <u>査読付き</u> 在宅療養者の同居家族が抱える介護負担感 と地域包括支援センターへの期待－家族介 護教室に焦点をあてて－ （共著：筆頭）	2017 年 3 月	健康科学大学紀要 13 号
（学術論文） <u>査読付き</u> 病院に勤務するソーシャルワーカーが抱え る業務上の不安とメンタリングに関する認 識 （共著：筆頭）	2016 年 3 月	健康科学大学紀要 12 号
（学術論文） <u>査読付き</u> 医療ソーシャルワーカー（MSW）が抱える業 務上の不安と解消の手立て （共著：筆頭）	2015 年 3 月	保健医療福祉連携 8 巻 2 号 （日本保健医療福祉連携教育学会）
（学術論文） <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の看護師・医療ソーシ ャルワーカーの業務に関する認識－専門職 連携に焦点を当てて－ （共著：筆頭）	2013 年 3 月	保健医療福祉連携 6 巻 1・2 号合併 号（日本保健医療福祉連携教育学会）

研究（つづき）		
2022 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） <u>査読付き</u> 介護サービス事業所職員の高齢者虐待防止法に対する理解と高齢者虐待対応の認識 （共著：筆頭）	2012 年 9 月	保健医療福祉連携 5 巻 1 号 （日本保健医療福祉連携教育学会）
（学術論文） <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の医療ソーシャルワーカーの現状と社会的入院に関する認識 （共著：筆頭）	2012 年 3 月	社会福祉学研究 7 号 （日本福祉大学大学院）
（学術論文） <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の退院調整に携わる看護師・医療ソーシャルワーカーの業務に関する認識とストレス対応力（SOC）との関連 （共著）	2010 年 3 月	山梨大学看護学会誌 8 巻 2 号
（その他：学会発表） 福祉と司法の連携促進のための研修プログラムの作成と効果 （共同：筆頭）	2020 年 10 月	第 13 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（千葉）
（その他：学会発表） 大学生の自殺予防研究における一考察 （共同）	2020 年 1 月	第 8 回日本公衆衛生看護学会学術集会（愛媛）
（その他：学会発表） 地域包括支援センターにおける地域ケア会議の活用による多職種連携の実践 （共同）	2018 年 11 月	第 15 回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会（山梨）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の「連携」のきっかけと困難感 （共同：筆頭）	2018 年 10 月	第 77 回日本公衆衛生学会総会（福島）
（その他：学会発表） A 県における地域包括支援センター職員と法律専門職の連携活動の比較 （共同）	2018 年 1 月	第 6 回日本公衆衛生看護学会学術集会（大阪）

研究（つづき）		
2022 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：学会発表） 地域包括支援センター社会福祉士の司法ソーシャルワーク連携の実態 （共同：筆頭）	2017 年 11 月	第 14 回山梨社会福祉実践学会（山梨）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の司法ソーシャルワークに対する認識 （共同）	2017 年 9 月	第 10 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（千葉）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の司法ソーシャルワークに関連した「連携」の特徴 （共同：筆頭）	2017 年 9 月	第 10 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（千葉）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター職員と法律専門職の連携活動の実態 （共同）	2017 年 9 月	第 10 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（千葉）
（その他：学会発表） 医療ソーシャルワーカー（MSW）の不安に対するメンタリングの可能性 （共同：筆頭）	2016 年 8 月	第 9 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（東京）
（その他：学会発表） 同居家族の介護負担感と地域包括支援センターの家族介護教室への期待 （共同：筆頭）	2015 年 8 月	第 8 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（東京）
（その他：学会発表） 地域包括支援センター活用に関する介護支援専門員の認識 （共同：筆頭）	2014 年 10 月	第 73 回日本公衆衛生学会総会（栃木）
（その他：学会発表） 介護支援専門員の地域包括ケアシステム・地域ケア会議に対する認識 （共同）	2014 年 10 月	第 73 回日本公衆衛生学会総会（栃木）

研究（つづき）		
2022 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：学会発表） 介護支援専門員の地域包括支援センターとの連携に関する認識 （共同：筆頭）	2014 年 9 月	第 7 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（新潟）
（その他：学会発表） 医療ソーシャルワーカー（MSW）が抱える業務上の不安 （共同：筆頭）	2013 年 10 月	第 72 回日本公衆衛生学会総会（三重）
（その他：学会発表） 高齢者虐待防止に向けた地域包括支援センターと介護サービス事業所職員との連携 （共同：筆頭）	2011 年 10 月	第 4 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（神奈川）
（その他：学会発表） ソーシャルワーク業務に対する不安とメンターの存在との関連 （共同：筆頭）	2011 年 10 月	第 70 回日本公衆衛生学会総会（秋田）
（その他：学会発表） Recognition of Staff of Nursing Service Office to Elderly Abuse （介護サービス事業所職員の高齢者虐待に対する認識） （共同：筆頭）	2011 年 10 月	The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing （第 2 回日韓地域看護学会協働学術集会）（兵庫）
（その他：学会発表） 高齢者虐待に対する介護サービス事業所の認識 （共同：筆頭）	2011 年 7 月	第 19 回日本社会福祉士会全国大会社会福祉学会（京都）
（その他：学会発表） A 県内病院ソーシャルワーカーの業務上の不安とメンタリングに対する認識 （共同：筆頭）	2011 年 2 月	第 8 回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会（山梨）
（その他：学会発表） 介護療養型医療施設の社会的入院に対する看護師と医療ソーシャルワーカーの認識 （共同：筆頭）	2010 年 10 月	第 69 回日本公衆衛生学会総会（東京）

研究（つづき）		
2022 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：学会発表） 介護療養型医療施設廃止に伴う医療ソーシャルワーカーの認識 （共同：筆頭）	2010 年 2 月	第 7 回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会（山梨）
（その他：学会発表） 介護療養型医療施設の社会的入院に対する医療ソーシャルワーカーの認識 （共同：筆頭）	2009 年 10 月	第 68 回日本公衆衛生学会総会（奈良）
（その他：学会発表） 介護療養型医療施設 MSW のストレス対処能力 SOC と役割受容との関連 （共同）	2009 年 10 月	第 68 回日本公衆衛生学会総会（奈良）

社会貢献	
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等	
2022 年 4 月～2023 年 3 月	
2023 年 1 月	日本司法書士会連合会高齢者の権利擁護部会会議 アドバイザー
2023 年 1 月	第 18 回山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会座長
2022 年 8 月	大学コンソーシアムやまなし 未来の学び（小学生のための生涯学習講座）講師
2022 年 4 月	第 18 回山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 研究支援アドバイザー
2011 年 4 月	山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会実行委員（現在に至る）
2022 年 3 月以前（主なもの）	
2021 年 3 月	山梨県峡東保健所 看取りに関する調査・分析作業 助手
2020 年 2 月	令和元年度 忍野村地域ケア会議 研修講師
2019 年 12 月	山梨県峡東保健所 看取りに関する調査・分析作業 助手
2019 年 12 月	令和元年度 第 4 回 富士北麓地域介護支援専門員研修会 講師
2019 年 10 月	令和元年度 山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修 実践編 ファシリテーター
2019 年 7 月	令和元年度 山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修 基礎編 ファシリテーター
2019 年 3 月	第 32 回日本保健福祉学会学術集会（山梨大会）開催運営委員（2019 年 10 月まで）
2018 年 7 月	平成 30 年度 山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修 基礎編 ファシリテーター
2018 年 5 月	第 15 回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2017 年 5 月	第 14 回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2016 年 5 月	第 13 回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2013 年 11 月	健康科学大学 高齢者に対する支援と介護保険制度 ゲスト講師
2013 年 10 月	第 11 回 山梨社会福祉実践学会 プレ大会セミナー A コース 講師
2012 年 8 月	山梨県立大学 看護実践開発研究センター 看護職のための統計学基礎講座 助手
2012 年 1 月	健康科学大学 社会福祉士国家資格対策講座 高齢者に対する支援と介護保険制度 講師
2011 年 12 月	健康科学大学 地域福祉の理論と方法／相談援助の基盤と専門職 ゲスト講師
2010 年 10 月	山梨県リーガルサポート勉強会 講師
受賞 ※個人、所属団体	
2008 年 12 月	業務改善委員会表彰（医療法人慶友会城東病院）